

最近受け入れた新刊・新譜から、おすすめの資料をご紹介します♪



《図書》

『^{かがく}響きの科楽 ベートーベンからビートルズまで』ジョン・パウエル (小野木明恵訳) 早川書房

請求記号：4.34-P871-11

著者は物理学者でありながら、作曲と演奏をこよなく愛するミュージシャンでもある。本書では、雑音と音楽の音の違いや、和声と不協和音、長調と短調などについて、科学的な視点から綴られている。しかしながら、物理学の専門用語はほとんど用いられていない。著者のユーモアあふれる文章に引き込まれながら、自然と、科学的な内容も含めて読み進めることができる。音楽がいかに科学的な事実から構成されているかを知りながら、自分の音楽の世界が広がっていくような期待も持てる一冊。

《音源資料》

『フレンチ・リサイタル』ラデク・バボラーク(Hrn)、菊池洋子(Pf) 請求記号：3H6.73

昨年末に刊行された小澤征爾と村上春樹の対談本（当室でも間もなく受入予定）において、「まさに天才的です。今世界でいちばんうまい奏者じゃないかな。」と小澤が絶賛しているホルン奏者、バボラークの新譜。サン＝サーンスやデュカス、ボザといった作曲家によるフランス作品集となっている。ホルンの伸びやかで豊かな音の響きに、耳も心も満たされる。また、共演のピアニスト菊池洋子も澄んだ音色を響かせている。バボラークは今年6月に来日の予定もあり、近々その生の演奏に触れることもできるようだ。

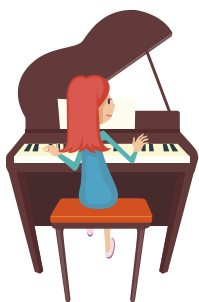
『ペルゴレージ：スターバト・マーテル 他』ネトレプコ(Sop)、ピッツォラート(Cont)、パッパーノ(指揮)、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団 請求記号：3N8.05

世界の舞台で活躍中のプリマドンナ、アンナ・ネトレプコ。オペラへの出演が多い彼女が、ペルゴレージの宗教曲《スターバト・マーテル》を歌っている。ネトレプコ独特の豊かで丸みのある響きが、パッパーノ指揮のオーケストラの立体感と相俟っている。共演のコントラルト、マリアンナ・ピッツォラートの澄んだ響きも、ネトレプコに負けず劣らず美しい。表題曲のほか、今日では演奏機会の少ない室内カンタータ等も収録されている。

音楽資料室からのお知らせ

◆音楽資料室では、Twitter でも情報を発信しています。アカウントは@tbkmlibrary です。東京文化会館ホールでの催事にちなんだ資料や、音楽家・詩人のエピソード等を日々ご紹介しています。ぜひご利用、フォローをよろしくお願いします！

◆所蔵資料はご紹介した図書や CD のほか、映像資料（LD/DVD/VHD）、LPレコード、雑誌のバックナンバー、東京文化会館で過去に行われた公演のプログラムなどもあります。ご覧になりたい資料がありましたら、お気軽にカウンター職員までおたずねください。



◆LP レコードを除くほとんどの資料は、音楽資料室のホームページから「蔵書検索」をクリックして検索することができます。検索されてからご来室なされると、資料の閲覧がスムーズです。ぜひご利用ください。

URL <https://opac.t-bunka.jp/>

2012年5月発行

2017年5月改訂 東京文化会館音楽資料室